

児童発達支援

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ドリーム手稲 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日	～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日	～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	アセスメントシートや、個人記録、情報交換シートをもとに発達段階を分析したり、保護者用のアセスメントシートを参考にし、要望を取り入れ児童発達支援計画を作成している。	個人記録の書式を見直したり、職員間で情報を共有して今後も適切なアセスメント・計画の作成に努めたい。
2	こどもの発達に応じて個別活動と集団活動を組み合わせて支援を行い、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を行っている。	発達段階や特性に応じて個別活動と集団活動を組み合わせて療育を行っている。個別活動では、一人ひとりのペースに合わせて専門的療育を実施し、スキルを伸ばしたり課題の改善を図っている。集団活動では、他の子どもとの関わりを通してコミュニケーションスキルや社会性を育てる療育を行っている。	一人ひとりにあった課題で楽しみながら成功体験を積んでいける活動を継続していく。
3	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	日々のお子様の様子については、連絡ノートや電話、面談等で保護者とやり取りをしている。その他、お子様の変化や保護者様の悩み不安等がある時には、都度直接お話を聞かせていただき、対応方法について情報交換を行っている。	アンケートや茶話会などで温かいお言葉をいただきありがとうございます。今後もご家庭と協力しながらより良い療育に努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や認定こども園、幼稚園等との交流。	戸外活動などで、地域のお子様と同じ空間で過ごす機会はあったがそれほど多く機会を設けることはできなかった。現在のお子さんの年齢や特性を考慮し交流することが難しかった。	今後も戸外活動時には地域のお子さんに関わる機会を設けていく。お子さんの年齢や思いに応じながら交流する機会も検討する。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営。	町内会の活動へ参加し、地域住民の方と関わる機会があったが、地域へ当事業所が発信したり、招くなどの機会を設けることはできなかった。	今後も地域の活動に参加しながら地域の方々との関わりを作っていく。また、地域へ発信していくことも検討する。
3	きょうだい同士の交流	茶話会を通して保護者同士の交流の場を設けることはできたが、兄弟同士の交流の場を設けるまでには至らなかった。	イベントを企画し参加して頂くことで、兄弟同士の交流の場を設けることを検討する。